

食料科学委員会 畜産学分科会（第25期・第3回）  
議事要旨

1. 日時 令和3年12月25日（金）10:00～12:00  
2. 場所 ビデオ会議  
3. 出席 眞鍋昇（二部会員）、枝重圭祐、小澤壯行、柏崎直巳、木村直子、  
後藤貴文、束村博子、山下恭広、吉澤緑（連携会員）、  
菊地和弘（特任連携会員）  
欠席 遠野雅徳（連携会員）

4. 議事

以下、眞鍋委員長の進行で行った。

(1) 定足数の確認

10名が出席し、分科会は成立した。

(2) 前回（第25期・第2回会議）の議事録要旨案の承認

第25期第2回分科会の議事録要旨案を確認後、承認した。

(3) 審議事項

A. 公開シンポジウムの開催について

後藤貴文委員より、公開シンポジウム「グリーンデジタルによる食肉生産：放牧による持続的な食料生産、環境保全とDXのポテンシャル」（令和3年3月20日、鹿児島大学稲盛会館にて開催予定）内容の説明があり、講演者の多様性の確保、SDGsの考慮、畜産物のヒトの健康に果たす役割、ESGsを意識したアニマルウェルフェアなどについても考慮の上、可能な限り講演の一部に話題の内容を含めて実施する方向で、了承された。今後、趣意書を提出する。

B. 日本畜産学アカデミーの活動について

・日本畜産学アカデミーの規約改正について

眞鍋委員長より、事務局の移転、オンラインでの総会開催について、畜産学アカデミー規約を実態に合わせて改訂してはどうかという提案があり、了承された。

・日本畜産学アカデミー新会員の推薦について

眞鍋委員長より、束村博子委員（名古屋大学・教授）より大蔵聡先生（名古屋大学・教授）を推薦頂いた旨の報告があり、新会員に迎えることが了承された。

(4) 報告事項

- ・公開シンポジウム「生活に身近な One Health：食品から検出される薬剤耐性菌の現状」（令和4年2月26日、オンライン）の開催について、食料科学委員会 獣医学分科会、食の安全分科会、畜産学分科会で共同主催することが報告された。

- ・眞鍋委員長より、第183回総会（12月2・3日開催）についての報告があった。
- ・眞鍋委員長より、第4回第二部会（12月3日開催）についての報告があり、「報告」や「提言」の査読体制などについて説明があった。

（5）その他

- ・眞鍋委員長より、次期の学術会議会員の選択の在り方について、政府と日本学術会議とで協議されていることが説明された。2022年春くらいには、次期会員の選択に入る必要がある。
- ・次回の分科会の開催について  
公開シンポジウム公開シンポジウム「グリーンデジタルによる食肉生産：放牧による持続的な食料生産、環境保全とDXのポテンシャル」に併せて開催する予定だが、改めて日程調整する。

資料：

- ・ 資料1：
  - 1）本学術会議畜産学分科会（第25期・第3回）議事次第
  - 2）畜産学分科会第25期・第2回会議議事録要旨案
  - 3）日本学術会議第二部会（第25期・第4回）議事概要案
  - 4）公開シンポジウム「生活に身近な One Health：食品から検出される薬剤耐性菌の現状」の趣意書
  - 5）日本畜産学アカデミー会員候補者推薦書
  - 6）日本畜産学アカデミー規約（元の案）
  - 7）日本畜産学アカデミー規約（改訂案）

その他、机上配布「公開シンポジウム「グリーンデジタルによる食肉生産：放牧による持続的な食料生産、環境保全とDXのポテンシャル」」内容

本分化会にあたっては、以下の職員が事務を担当した。

丸山 恵子 参事官（審議第一担当）付 第2部担当

以上